



ジオパークのキホン 持続可能な発展とは？

ジオパークの基本理念のひとつに「持続可能な地域の発展」というキーワードがあります。なんとなく、わかっているけれど、もやっとしたこの「持続可能な発展」という言葉。この言葉はジオパークだけでなく、新しい時代の社会全体に必要なキーワードです。簡単にいうと、将来の世代が困らないよう、今の私たちも豊かに暮らし、いいものを未来に残していくという考え方です。

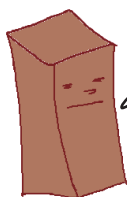
1950年代以降、世界は工業化により、経済的には発展してきた一方、環境破壊が起こり、資源の枯渇が懸念されるようになりました。経済成長と環境保全はしばしば対立概念として受け止められ、経済成長を犠牲にしないと環境保全はできないという考え方が一般的でした。この状況を克服する為に80年代に入り、「持続可能な発展(sustainable development)」という概念が生まれました。「持続可能な発展」には経済と環境に、教育や文化といった人間の社会的側面の充実も加わることで、環境・経済・社会の3要素の充実が基本となります。この3要素が互いに負荷をかけず、充実させていくことが「持続可能な発展」です。

これをジオパークに置き換えると、地域の地質遺産や生態系などの自然を守りつつ、それらを教育や観光などの経済活動に活用し、私たちの暮らしの伝統や文化をより良いものにしていくということになります。まずは、日々の暮らしのちよっとした場面から「持続可能ってどういうことか」考えてみてください。

この「持続可能な発展」に世界全体で取り組もうというのが「持続可能な開発目標(SDGs)」です。土佐清水ジオパーク構想でもSDGsを意識した活動に取り組んでいきます。



全てがバランスよく調和した状態、win-win-win...の関係が大事ながで。



専門員
コラム



ぐっちゃんの いきものバンザイ!!

遺伝子研究はタイムトラベル

私は遺伝子研究が専門です。「遺伝子研究」といってもなじみのない方が多いでしょうか。そこで、今回は遺伝子研究でどのようなことができるのか、その面白さについてお話します。

トサミズサンショウウオをご存知でしょうか。2018年に土佐清水市で発見された新種のサンショウウオです。このトサミズサンショウウオの発見には遺伝子研究が貢献しています。トサミズサンショウウオはこれまで九州西部に生息するサンショウウオと同種とされ、オオイタサンショウウオと呼ばれてきました。サンショウウオ属は体の大きさや形といった形態の個体差が大きく、種を見分けるのが難しかったためです。しかし、形態では見分けられなくても、遺伝子では見分けられる場合があります。トサミズサンショウウオも形態と遺伝子の両方を調べたことでオオイタサンショウウオとは別種であると確認されました。また、遺伝子から生物の歴史も調べることができます。最近の研究では、トサミズサンショウウオは山陰地方に生息するアブサンショウウオに近いことや、200万年以上も昔に他のサンショウウオと分かれて独自の歴史を歩んできたことなどが分かりました。

このように、目では見えない世界を見ることができるところが遺伝子研究の面白さです。特に、遺伝子の「現在」から生物の「過去」のことがわかるというのは、タイムトラベルみたいでワクワクします。(森口夏季・ジオパーク専門員)

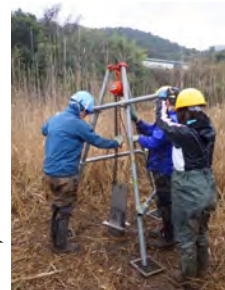
とさしみずの研究

平成30年度学術研究
支援事業の紹介(全5回)

第2回 高知県土佐清水市における
津波浸水履歴の解明

研究した人 筑波大学生命環境科学研究科
地球科学専攻 嶋田 侑真さん

大岐の湿地帯での調査の様子
こうして採取した地層のサンプル
から、津波の痕跡を見つけました。



私の研究分野は、南海トラフで発生した地震と津波の痕跡を見つけることです。今回は、大岐海岸の近くにある湿地で掘削調査を行い、「津波堆積物」と呼ばれる地層を調べました。「津波堆積物」とは、津波によって海底・海岸から運ばれてきた砂や石のことです。今回調査した湿地のよう、海の近くにある湿地・湖の地層に、過去に発生した津波によって運ばれた津波堆積物が残されていることがあります。いつ、どのような津波が土佐清水を襲ったのか、という歴史を明らかにしたいという目的で、大岐海岸にて調査を行いました。調査の結果、15世紀に発生した地震による津波堆積物の可能性がある地層を見つけることができました。今後も、土佐清水市で調査を継続したいと思っています。

最後に、研究にあたり、掘削調査にご理解・ご承諾いただきました地権者の皆様に、御礼申し上げます。ジオパーク推進協議会の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。

イベント!

土佐清水自然史研究会 × 土佐清水ジオパーク構想

土佐清水自然史研究会
発足記念講演会

自然との付き合い方を考える

土佐清水自然の豊かさとは何か? この問いに、この土地に住む私たちが向き合う為、土佐清水自然史研究会が発足しました。発足を記念して、自然史研究会と共催で講演会を開催します。私たちは土佐清水の自然をどう捉え、どう向き合うのか...サイエンスの視点から土佐清水を見つめてみませんか。

講演会

日時: 6月22日(土) 13:00~17:00
場所: 土佐清水市中央公民館
内容: 講演会、研究発表、
ポスターセッション
※入場無料、事前申込不要

翌日にはエクスカーションもあります。
詳細は協議会HPをご覧ください。

発行

土佐清水ジオパーク推進協議会 〒787-0392 土佐清水市天神町11-2
TEL 82-1115 MAIL geopark@city.tosashimizu.lg.jp

推進協議会 HP



facebook

